

第 2 問

京都の夏の風物詩である祇園祭で行われる山鉾^{じゆんこう}巡行は、数十基の山鉾が京中を練り歩く華麗な行事として知られる。16 世紀の山鉾巡行に関する次の(1)~(4)の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。解答は、解答用紙(口)の欄に記入しなさい。

- (1) 1533 年、祇園祭を延期するよう室町幕府が命じると、下京の六十六町の月行事たちは、山鉾の巡行は行いたいと主張した。
- (2) 下京の各町では、祇園祭の山鉾を確実に用意するため、他町の者へ土地を売却することを禁じるよう幕府に求めたり、町の住人に賦課された「祇園会出銭」から「山の綱引き賃」を支出したりした。
- (3) 上杉本『洛中洛外図屏風』に描かれている山鉾巡行の場面をみると(図 1)、人々に綱で引かれて長刀鉾^{なぎなたぼこ}が右方向へと進み、蟪蛄^{とうろう}(かまきり)山、傘鉾^{やま かさぼこ}があとに続いている。
- (4) 現代の京都市街図をみると(図 2)、通りをはさむように町名が連なっている。そのなかには、16 世紀にさかのぼる町名もみえる。

設 問

16 世紀において、山鉾はどのように運営され、それは町の自治のあり方などどのように影響したのか。5 行以内で述べなさい。